

# 動物と向きあって生きる

坂東元作 あべ弘士絵 角川学芸出版

数えきれないほどたくさんの昆虫を飼っていた少年は、中学生になり鳥に魅せられ、そのうち、家中、セキセイインコが乱れ飛び状況になった。生き物に囲まれて育った著者は、旭山動物園の獣医となった。そこで出会った野生動物は、ペットとは違い、「食うか食われるか」のギリギリのところで生きていた。彼らが人間になつくことなどあり得ないのだ。

野生動物はすごいんだ！と伝えるために、旭山動物園では、動物の側に立った「行動展示」をはじめた。

